

大会時・コロナ禍での取組

・東京2020大会の開催およびコロナ禍以前から働き方改革の一環として促進

人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリパラ

コロナ禍

- テレワーク 実施は本社職場のみ
- オフピーク通勤 時差出勤制度（7：30～13：30までの30分刻み11段階）を活用
- サテライトオフィスを利用 . . . 契約したシェアオフィスを活用
- 会議等のオンライン化 社内外の会議をオンラインで実施
また、研修もオンラインで実施
- 有給休暇の計画的な取得促進 . . 既存の制度を活用して取得を推奨
期間限定休暇制度の期間を延長

物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリパラ

コロナ禍

特に無し

（業態として物流を扱うことがない）

取組ポイント

- 社外から職場PCをリモート操作できる環境を整備
- オフピーク通勤は自己判断と柔軟性を持たせて実施
- 民間のシェアオフィスと契約し、多様な選択肢を用意

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

- テレワーク
※実施可能な職場において継続して実施予定
- サテライトオフィスの利用
- オフピーク通勤
- 会議等のオンライン化
- 計画的な休暇の取得
- 手続きの電子化
※社内申請書類等の電子化を徐々に推進中

物の流れ

特に無し

【東京2020大会を振り返って】

- ・テレワークの実施は、東京2020大会の開催を踏まえた取り組みではなく、コロナ影響や働き方改革といった観点から実施している。
- ・東京2020大会開催時の特別な取り組みは実施していないが、テレワーク、オフピーク通勤や手続きの電子化等といった取り組みを継続することとしている。